

国際交流 Newsletter



編集・発行：白石市国際交流協会事務局（白石市役所まちづくり推進課内） TEL 0224-22-1327 FAX 0224-22-1451



Discover Australia,

第3回

オーストラリアを知って、日本を知る

discover Japan



～オーストラリアのカウラにある

聖ラファエル・カトリック・スクール・カウラ校との友好親善交流～

みなさん、こんにちは。今回は、市内中学生の交流相手国オーストラリアの歴史、国旗と国章についてお話していきます。

※参考:もっと知りたいオーストラリア



先住民の歴史

オーストラリアには、元々、先住民(アボリジナル・ピープルとトレス海峡諸島民)が、6万年前から住んでいました。たくさんの先住民がオーストラリア全土に住み、そして、500以上の部族があったとされ、彼らは、独自の言語(*)、信仰、習俗からなる複雑な文化を形成し、非常に長い間、細かく巧みに自然と調和して生きていました。(*)大人気の動物「コアラ」「カンガルー」も先住民の言葉です。コアラは「水を飲まない」、カンガルーは「わからない」という意味なんです！



イギリス植民地の設立

1788年1月26日、イギリスの総司令官アーサー・フィリップ船長率いる艦隊「最初の植民船団」が現在のシドニーのポートジャクソンに到着しました。イギリス政府は、当時国内で問題となっていた刑務所の定員超過を解消するため、この新たなオーストラリア大陸を次なる囚人の植民地として利用することを決定したのです。船団には約1350名が乗船していましたが、その内の700名以上が囚人で、残りは将校や乗組員、海兵隊員など囚人の監督業務に携わる人々でした。彼らがシドニーに上陸し、入植を開始したこの日を記念して、1月26日は「オーストラリア・デー」と呼ばれる祝日となっています。



入植者と先住民の対立

囚人以外の一般の入植者も自由移民としてオーストラリアに住むようになり、農産業活動が拡大していき、メルボルン、ブリスベン、パース、ホバート、アデレードといった町にも多くの入植者が移り住むようになりました。これらの都市は新たにできた植民地の州都となりました。

こうした植民地の開発が進んでいく一方で、入植者と土地を奪われた先住民との間で争いが頻繁に起こるようになりました。また、入植者によって持ちこまれた病気や生活様式の変化により、先住民の伝統的な生活様式や習慣の多くが失われていきました。

Discover Australia,

第3回

オーストラリアを知って、日本を知る

discover Japan

撮影地：カウラ

撮影地：カウラ



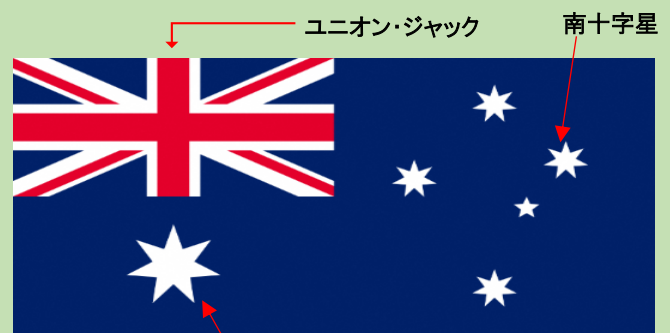
連邦政府の成立

植民地経済の発展とともに、人々の中に入植者としてではなく、オーストラリア人としての意識が芽生え始め、それと同時に、イギリス本土から遠く離れた植民地を治め続けていくことが困難とわかり、各植民地に自治権が認められるようになりました。こうして、連邦化実現に向けた動きが見られ、国内にナショナリズムの高まりから連邦制を目指す声がより高まってきました。1897年から1898年にかけて開催された連邦憲法制定会議で連邦憲法の案文が作られ、この憲法を含む法案が1900年にイギリス議会議会を通過しました。翌1901年1月1日にこの法案が正式に施行されたことにより、かつての植民地を州と改め、州の統合体としての国家オーストラリア連邦が成立しました。



国旗について教えてください！

- 左上**：イギリスの旗である**ユニオン・ジャック**（連邦旗）。イギリスとの歴史的関係とオーストラリアがイギリス連邦の一員であることを示しています。
- 右側**：5つの星は**南十字星**。オーストラリアから見える星座で、オーストラリアが南半球にあることを示しています。
- 左下**：**連邦七稜星**。星のとがった7つの先がそれぞれ6州と特別地域（北部準州・オーストラリア首都特別地域を含む）を表しています。



連邦七稜星（れんぽうしちりょうせい）

オーストラリアの国章

国章には1頭のカンガルーと1羽のエミュー、国花のゴールデン・ワトル（アカシア）が描かれています。上部には連邦七稜星が配置され、中央には6つの州章が描かれた盾も配置されています。オーストラリアには特有の動物が多く存在しますが、中でも『**前進し**かしない』動物という理由でカンガルーとエミューが選ばれました。オーストラリアの**ポジティブな精神**を表しています。



- | | |
|--------------|-----------------|
| 国の色は？ | 緑と金 |
| 国の花は？ | ゴールデン・ワトル（アカシア） |
| 国の鳥は？ | エミュー |



▲今年3月に開催されたWBCワールド・ベースボール・クラシックのオーストラリア代表チーム。ユニフォーム等に国の色が使われていますね。

写真：Team Australia Baseball

ホワイト・ストーン・ジャーナル - 国際交流 Newsletter Vol.185

国際交流ニュースレターは

「白石市国際交流協会」のホームページで閲覧できます。

<https://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/17/1245.html>



左のQRコードを読み取っていただくと、ニュースレターと協会のホームページのURLが表示され、簡単にアクセスできます。ぜひ、モバイル端末でもご覧ください。

